

施工説明書

(P型2級受信機 地図式用)

品番NBY429

NBY429

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには消防設備士 (甲種第4類) の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書をお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

付属品	
●施工説明書 (本紙) ……………	1枚
●非常放送連動停止ご注意ラベル…	1枚
●副受信機用端子ラベル……………	1枚
●絶縁ラベル……………	1枚
●接続用ケーブル……………	1コ
●基板取付部品……………	1式

安全上のご注意

必ずお守りください



警告

受信機・接続機器の電源 (AC100V) を切り、受信機の電池を取りはずした状態で施工する。
活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。

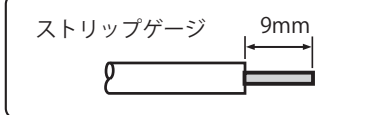
速結端子のご使用方法

- 電線は必ず右記の単線を使用してください。

小勢力端子	φ0.9~φ1.6
-------	-----------

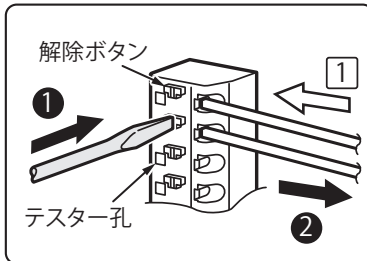
電線の接続方法

- 速結端子への入線は、1端子あたり、1本にしてください。受信機内のストリップゲージに合わせて電線被覆を9mmむき、①心線を奥まで確実に差し込む。



電線のはずし方

- ① マイナスドライバー (小) で解除ボタンを押しながら
- ② 電線を引き抜く。



導通確認のしかた

テスター孔にテスター棒を差し込めば結線したまま導通確認などができます。

施工上のご注意

- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
- 商品の分解・改造は絶対にしないでください。故障の原因となります。

施工時のご注意

- 電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。
- 電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化不良をおこし、誤報の原因となります。



施工後の確認方法

- 確認後は、受信機の復旧スイッチを押して、平常時の状態にしてください。(P型2級受信機の取扱説明書を参照ください。)

非常放送設備 (音声警報機能付) を接続する場合 (出荷時設定)

- 受信機のL-C間を1回線ずつ短絡させ、右記の接点出力を確認し、受信機の復旧スイッチを押した後、次の回線を確認してください。
- 火災警報回線
 - 1回線目 (L1-C)
 - 2回線目 (L2-C)
 - 3回線目 (L3-C)
 - 4回線目 (L4-C)
 - 5回線目 (L5-C)
- 接点出力
 - EA1-EC間導通
 - EA2-EC間導通
 - EA3-EC間導通
 - EA4-EC間導通
 - EA5-EC間導通

- 受信機のL-C間を2回線分、短絡させ火災警報状態とし、接点出力EF-EC間が導通することを確認してください。

副受信機を接続する場合

- 受信機のL-C間を1回線ずつ短絡させ、副受信機の該当回線の点灯および警報音の鳴動を確認してください。

代表移信を火災代表とした場合 (出荷時設定)

- 受信機のL-C間を1回線分、短絡させ火災状態とし、接点出力Fa3-Fd3・Fa4-Fd4間が導通することを確認してください。

代表移信をトラブル代表とした場合

- 受信機のL-C間を断線させ、トラブル発生 (回線異常) 状態とし、接点出力Fa3-Fd3・Fa4-Fd4間が導通することを確認してください。

設定方法

非常放送設備 (音声警報機能付) と接続する場合 (出荷時設定)

- 移信用リレーユニットのジャンパーJP1を「②側」に変更してください。

副受信機と接続する場合

- 移信用リレーユニットのジャンパーJP1を「①側」に変更してください。

- 1台の移信用リレーユニットで火災代表かトラブル代表のどちらかが出力できます。

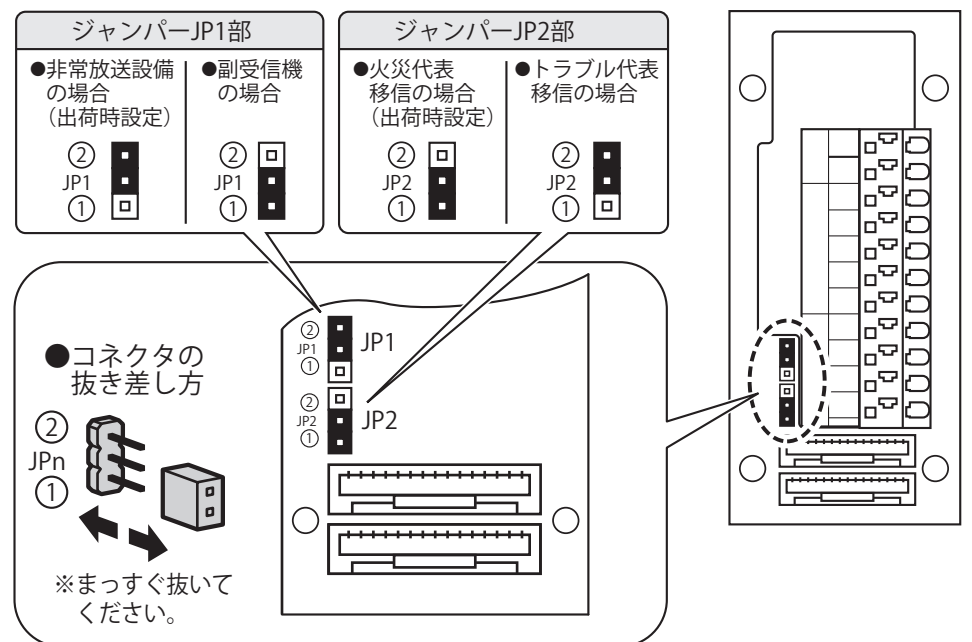
火災代表移信を出力する場合 (出荷時設定)

- 移信用リレーユニットのジャンパーJP2を「①側」に変更してください。

トラブル代表移信を出力する場合

- 移信用リレーユニットのジャンパーJP2を「②側」に変更してください。

- 交流電源断の発生では、トラブル代表移信は出力されません。



非常放送連動停止ご注意ラベルの貼付について

- 非常放送設備 (音声警報機能付) と接続する場合は、付属の下記ラベルを受信機の目立つところに貼り付けてください。

絶縁ラベルの貼付について

- 非常放送設備 (音声警報機能付) と接続する場合は、付属の下記ラベルを受信機の目立つところに貼り付けてください。

ご注意

絶縁抵抗試験をする時は、非常放送設備の内部回路が破損する恐れがありますので、必ず、非常放送設備への配線をすべてはずしてから行ってください。

40785

ご注意

この受信機の移信 (移報) スイッチで非常放送の連動も停止します

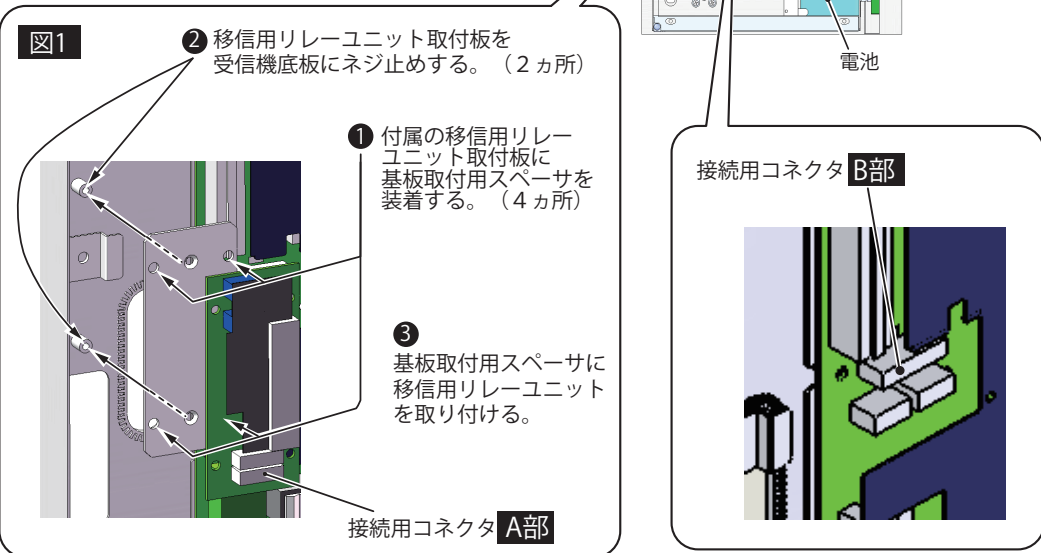
非常放送連動停止ご注意ラベル

絶縁ラベル

取付方法

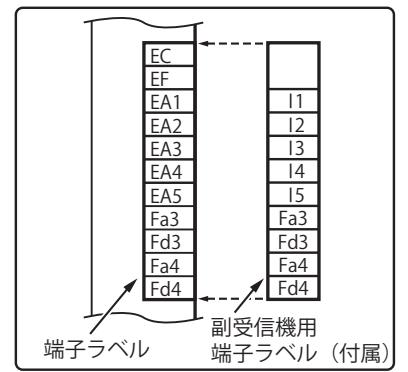
■非常放送設備（音声警報機能付）を接続する場合

- 受信機の扉をあける。
- 交流電源スイッチを「切」側にし、電池を取りはずす。
- 受信機の移信用リレーユニット取付スペース②に移信用リレーユニットを取り付ける。（**図1**参照）
- 移信用リレーユニットの接続用コネクタ**A部**と受信機の接続用コネクタ**B部**を付属の接続用ケーブルで接続する。
- 配線する。
※「接続方法」参照
- 交流電源スイッチを「入」側にし、電池を取り付ける。
- 動作確認をする。
※「施工後の確認方法」参照
- 受信機の扉をしめる。



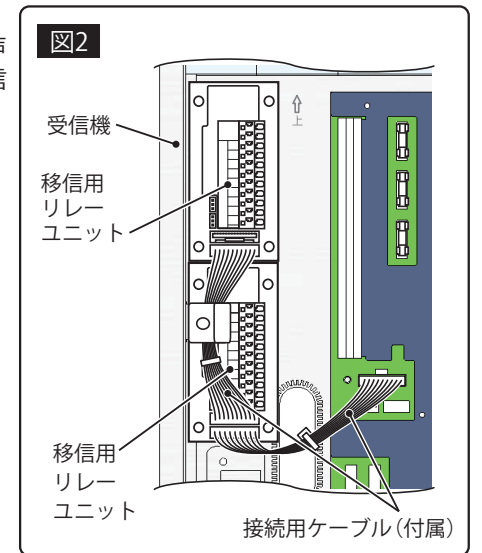
■副受信機を接続する場合

- 移信用リレーユニットの端子ラベルの上に副受信機用端子ラベル（付属）を貼り付ける。
- 移信用リレーユニットのジャンパーJP1を「②側」から「①側」に変更してください。
※「設定方法」参照
- 他の取付方法は「非常放送設備（音声警報機能付）を接続する場合」と同じです。



■移信用リレーユニットを2台取り付ける場合

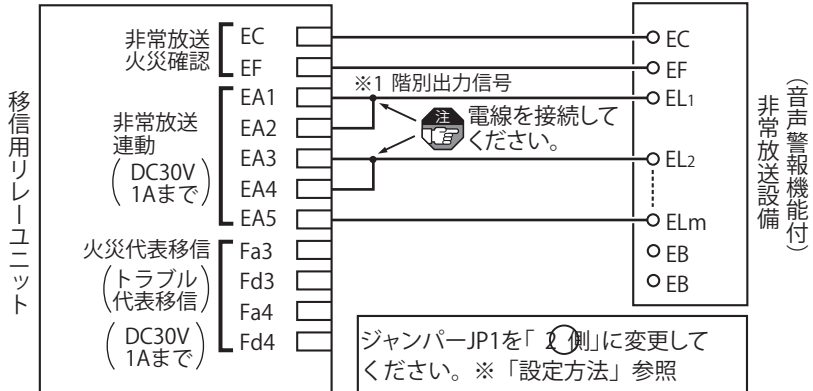
- 移信用リレーユニット取付スペース①、②に取り付けてください。
- 移信用リレーユニットと受信機の接続方法は**図2**を参照してください。
- 他の取付方法は、「非常放送設備（音声警報機能付）を接続する場合」「副受信機を接続する場合」と同じです。



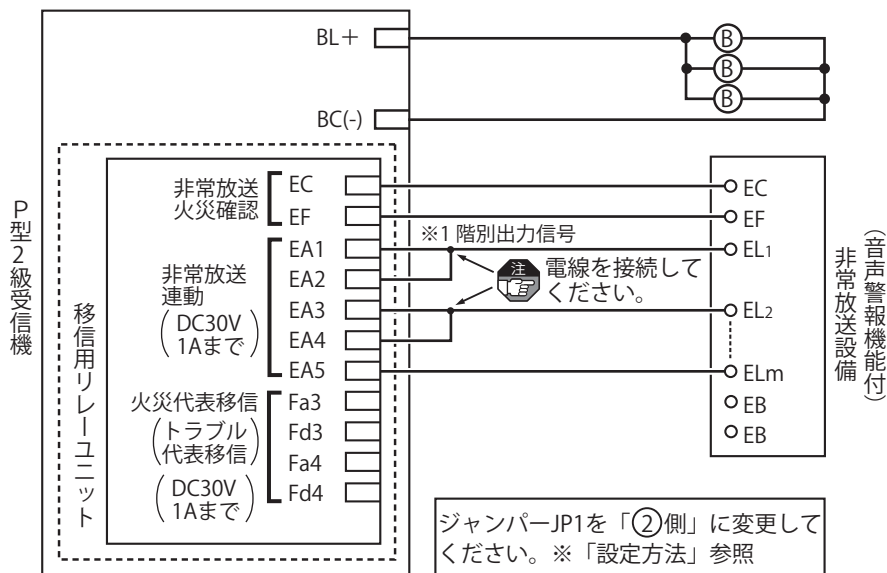
接続方法

■非常放送設備（音声警報機能付）との接続

【1】地区ベルを接続しない場合



【2】地区ベルを接続する場合（一斉鳴動）



注 非常放送設備からの地区ベル鳴動停止はできません。

※1

●3階の建物で	3階	5回線
1階に1・2回線、	2階	3回線 4回線
2階に3・4回線、	1階	1回線 2回線
3階に5回線を使用した		
場合を示します。		

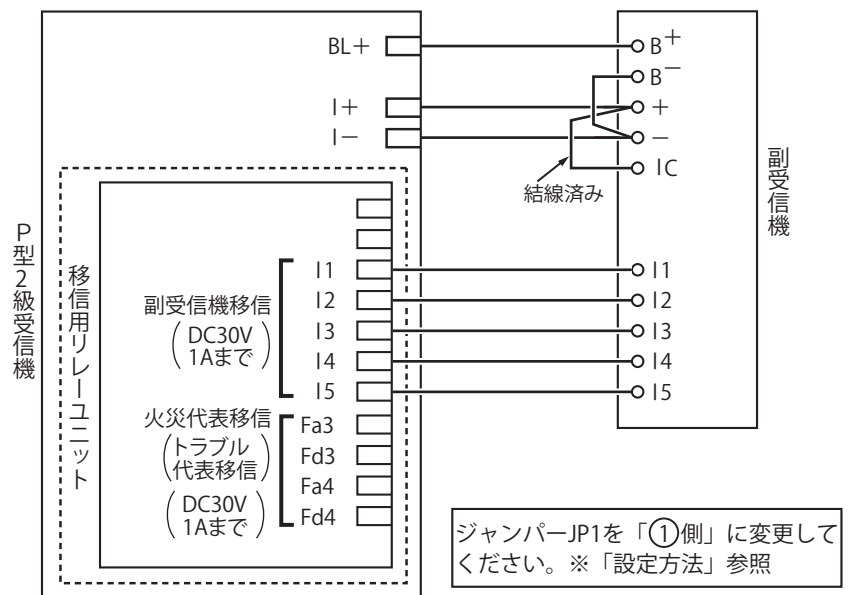
警告

電線、コネクタの差し込みが、不十分な場合、誤動作・不動作の原因になりますので確実に差し込んでください。

■非常放送設備（音声警報機能なし）との接続

- 接続できません。

■副受信機との接続



■異常時の点検・処置

症状	点検	処置
接点出力 (EAn -EC間、EF-EC間) がでない。	接続用コネクタ (2カ所) がしっかりと差し込まれていないか？	接続用コネクタ (2カ所) をしっかりと差し込む。（「取付方法」参照）
	ジャンパーJP1が「①側」に差し込まれていませんか？	ジャンパーJP1を「②側」に差し替える。（「設定方法」参照）
副受信機移信がでない。	ジャンパーJP1が「②側」に差し込まれていませんか？	ジャンパーJP1を「①側」に差し替える。（「設定方法」参照）
火災代表移信がでない。	ジャンパーJP2が「②側」に差し込まれていませんか？	ジャンパーJP2を「①側」に差し替える。（「設定方法」参照）
トラブル代表移信がでない。	ジャンパーJP2が「①側」に差し込まれていませんか？	ジャンパーJP2を「②側」に差し替える。（「設定方法」参照）